

令和7年度 日南市立大窪小学校 学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】 「がんばるぞう〔児童〕」を「ささえるぞう〔教職員〕」という理念のもと、地域、児童、学校の「人・もの・こと」を大切に、極小規模校の利点を最大限に生かした「チーム大窪」として、児童一人ひとりが夢や希望に向かって学び続ける学校を目指す。

4：よい 3：だいたいよい 2：もう少し 1：よくない

重点目標	目指す具体的な姿	評価指標	自己評価		学校関係者評価			
学力向上	児童は一人ひとり異なる特性をもつことを理解したうえで、確実に身に付けなければならない各教科の基礎・基本を身に付け、学んだことを様々な面で生かすことができる。	○ 特別な支援を必要とする児童の困り感を的確に把握し、個に応じた指導・助言・激励を徹底し、学びへの意欲を高め持続させることができたか。	3 ・ 5 2	3 ・ 4 0	極少数の強みを生かし、一人ひとりに合わせた指導を行う中で、基礎的・基本的な学力は、おおむね定着が見られている。学習内容の理解が進むことに伴い、意欲の高まりや持続が見られるようになっている。 一対一の指導ではICTを効果的に活用できる場面が限られてしまう。しかし、進学後を見据えてICTを活用した学習に順応させておくことは重要だと考えている。	3 ・ 7 5	3 ・ 5 0	授業参観などの機会に見かける子どもたちは、先生や友達など周りの人の話を聞いて学ぼうとする姿を見ることができる。 先生たちは、一人ひとりの個性に合わせて、情報機器などを活用しながら一生懸命頑張る指導に当たっておられると感じており、その大変さも理解している。
		○ 一人一台端末環境を前提としたICT・教育データを利活用することができたか。	3 ・ 2 8			3 ・ 2 5		
豊かな心の育成	先生や友だちの話をしっかり聞いたり、自分の気持ちや考えを上手に伝えたりすることができる。	○ 児童が多様な考え方に触れたり、自分の考え方を表現したりするための機会を意図的に設定することができたか。	3 ・ 1 1	3 ・ 1 7	二人共通の学習活動においては、相互の意見や感想を聞き合わせるなど、日常的に他者の考えに触れる機会を設け、外部講師による指導を計画することで、多様な考えに触れる機会のフォローアップに努めてきた。 自分の気持ちを言語化する点については、課題が残っているものの、一年間の成長を振り返ると自ら心の安定を図る力や、苦手なことでも粘り強く取り組む力が伸びてきた。	3 ・ 7 5	3 ・ 7 5	授業参観や地域と学校との交流の中で、子どもたちは、感想を述べたり、質問をしたりするなどして、自分の思いを表現する姿が見られる。 豊かな心の成長は、生来の性格や能力もある反面、家族や周りの人たちのかわりや本人の意識と努力による部分もあるので、今後も、自分の課題をしっかりととらえて成長してほしい。
		○ 普段の教育活動や他校児童との交流学習等を通して、コミュニケーション能力やたくましい心を高めることができたか。	3 ・ 2 3			3 ・ 7 5		
地域との連携	地域の伝統文化の継承や、人・もの・ことに関心をもち、ふるさとを誇りに思う心をもつことができ	○ 地域の人・もの・ことを教育活動に取り込み、生かすことができたか。	3 ・ 7 0	3 ・ 5 2	総合的な学習の時間を軸に、地域の人や自然と触れ合いながら、その良さや大切さを理解するための学習活動を行うことができた。 一部の参観日では、家庭教育学級や学校保健委員会を兼ねて保護者と一緒に参加できる計画を立て、フリー参観日として地域からの参加も募ったことで、普段の子どもたちの様子を見ていただく機会になった。	4 ・ 0 0	3 ・ 8 8	運動会では、素晴らしい剣棒踊りを見ることができ感激した。児童が、地域の方と交流する姿や、伝統文化に取り組む態度が素晴らしい。3月で閉校となるが、これからも、今の地域に対する思いを持ち続けてほしい。 学校だよりやホームページでの情報発信、学校行事の案内などがあり、学校の様子がよく伝わっている。
	学校の教育活動を積極的に発信する。	○ 学校運営協議会、参観日、学校保健委員会の充実を図るとともに、学校WEBによる定期的な情報発信を行うことができたか。	3 ・ 3 3			3 ・ 7 5		
働き方が改進黨の向上と	校務の精選を図るとともに、協力的な教授システムを構築する。	○ 学校の重点課題から教育活動を精選するとともに、個々の教職員の適性を生かした学校運営を行うことができたか。	3 ・ 7 8	3 ・ 8 9	学級担任2名が、保健室、事務室、管理職とも連携をとり、それぞれの得意分野を生かしながら、学習活動に取り組んだ。また、研修においては、職員個々のニーズに合わせて計画をした。 外部人材を効果的に活用したことで、少ない職員のためどうしても不足するマンパワーを補うことができた。	3 ・ 7 5	3 ・ 7 5	日々触れ合う保護者や先生、地域住民以外に外部人材を活用することで、子どもたちがいろいろな方とふれあう機会となっており、働き方の改善とあわせて教育効果の高まりが見られる。 真摯に学校のために動き、あたたかい気持ちで子どもたちと触れ合ってくださいボランティアの皆様には、特に感謝をしたい。
	外部人材の積極的な活用を図る。	○ スクールカウンセラーや教員業務支援員、学生ボランティア等の人材を効果的に活用したか。	4 ・ 0 0			3 ・ 7 5		